

「幌延深地層研究計画 令和6年度調査研究計画 札幌説明会」 挨拶

令和6年4月18日

幌延深地層研究センター 所長 佐藤 稔紀

- 幌延深地層研究センター所長を務めております佐藤と申します。
- 本日はお忙しい中、「幌延深地層研究計画 令和6年度調査研究計画 札幌説明会」に足をお運びいただきまして、誠にありがとうございます。
- まずは、常日頃より当機構の業務につきまして、ご支援・ご協力を賜りましておりますことに、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。
- 本日の令和6年度調査研究計画の説明では、令和5年度の成果の概要にも触れさせていただきますが、これまで着実に成果をあげつつ研究開発ができましたのも、ひとえに幌延町などの地域の皆様をはじめとした北海道民の皆さまのご理解・ご支援の賜物と深く感謝いたしております。
- 機構の事業を進める上では、幌延町および北海道との間で取り交わした三者協定が大前提ですので、「放射性廃棄物を持ち込まない」、「研究が終わったら地下の施設は埋め戻す」といった約束をしっかりと守りながら、公明正大にかつ最大限の成果が得られるように進めていきたいと考えております。
- 今年度は、東立坑と換気立坑に引き続き、西立坑の掘削に着手する計画です。今後とも、安全を第一に情報公開を徹底し、着実に研究開発を進めていきますので、引き続き、ご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。
- それでは、令和6年度の調査研究計画について説明をさせていただきますので、忌憚のないご意見等いただければと思います。